

令和7年度 神奈川県社会環境実態調査結果（概要版）

I 調査の趣旨

この調査は、青少年の健全育成に大きな影響を与えると考えられる各種営業の実態や神奈川県青少年保護育成条例（以下「条例」という）の遵守状況等を把握し、店舗や関係業界への立入調査及び指導、県民への周知啓発、条例による規制等の検討に資する基礎資料とするため、県と市町村が協力して調査を行うものである。

II 調査対象

令和7年度は、カラオケボックス、図書類取扱店（書店・古書店・映像ソフト取扱店・ゲームソフト取扱店）に対して調査を行った。

地域	カラオケボックス	図書類取扱店		
		書店	映像ソフト取扱店	ゲームソフト取扱店
横浜市	31	16	7	12
川崎市	13	8	5	3
相模原市	4	5	1	3
横須賀・三浦地域	9	6	3	3
県央地域	9	4	5	5
湘南地域	11	10	2	2
県西地域	3	6	3	3
合計	80	55	26	31

※ 図書類取扱店はそれぞれ重複あり

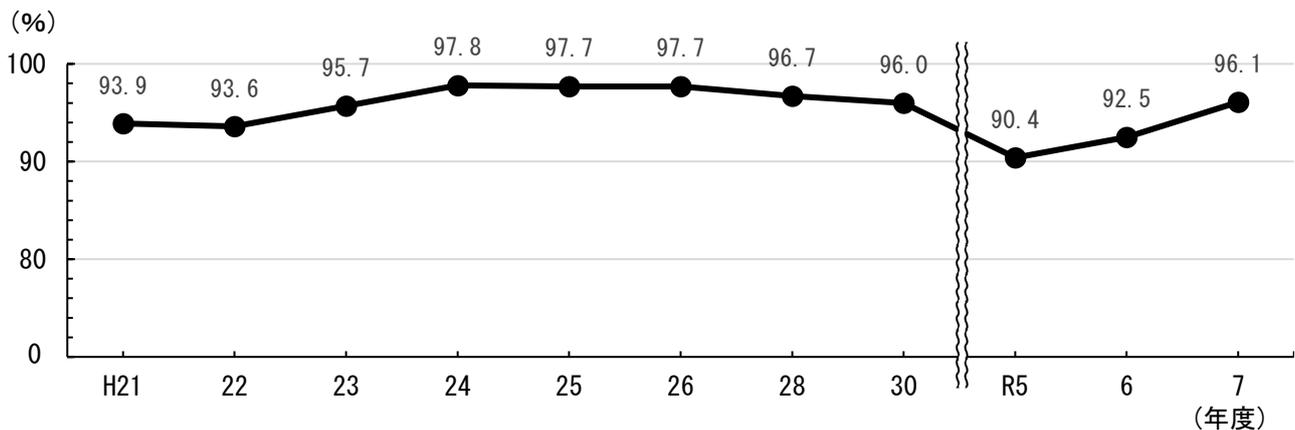
Ⅲ 調査結果

1. カラオケボックス（全80件）（H2年度調査開始）

調査を実施したカラオケボックス80店舗の内、深夜営業を行っている77店舗について条例の順守状況を調査した。また、個室を設置している80店舗について、個室の状況を調査した。

項目	調査内容	可能(有)	不可能(無)
条例に基づく措置 (n=77)	18歳未満の深夜立入り禁止表示	74	3
		96.1%	3.9%
個室の状況 (n=80)	外部から個室内部の見通し	76	4
	個室の内鍵の有無	2	78
		2.5%	97.5%

図1 条例の順守状況の推移



※ 平成26年度以降は隔年で実施。

※ 令和2～4年度は、新型コロナの影響により、調査の休止または調査規模の縮小により調査件数が例年と大きく異なるため、グラフから省略している。

2. 図書類取扱店（全65件）（H18年度調査開始）

調査を実施した図書類取扱店舗の内、有害図書類を取扱う店舗は書店が22件、映像ソフト取扱店が20件、ゲームソフト取扱店が26件であった。なお、同一店舗で書籍、映像ソフト、ゲームソフトの複数種類を取扱っている場合は、種類ごとに1件として計上している。

有害図書類 取扱件数		区分陳列		販売・閲覧禁止の表示	
		している	していない	ある	ない
書店	22	22	0	17	5
		100%	0%	77.3%	22.7%
映像ソフト 取扱店	20	20	0	17	3
		100%	0%	85.0%	15.0%
ゲームソフト 取扱店	26	26	0	22	4
		100%	0%	84.6%	15.4%

図2 条例の順守状況の推移【書店】

※ 平成26～30年度は、隔年で実施。

※ 令和2～4年度は、新型コロナウイルスの影響により、調査の休止または調査規模の縮小により調査件数が例年と大きく異なるため、グラフから省略している。

